

①学習課題（小学校4年生）

【国語】

<内容>

◆「春のうた」（P12～P13）を声に出して読みます。

①止まらずに読めるようになったら、読み方の工夫を考えて読みます。

（例）かえるになりきって読もうかな。

声の大きさや間の取り方を工夫して読もうかな。

◆「つづけてみよう 国語辞典に親しもう（P14）」（辞書が家庭にある場合）

①よく知っている言葉を一つ思い浮かべて、その言葉が国語辞典ではどう説明されているかを予想します。

②国語辞典で思い浮かべた言葉を調べて、書かれていることを確かめます。調べた言葉と、書かれていたことを取組シートに書きます。

◆P29「白いぼうし」で学習する予定の新出漢字をノートに練習します。（読み方や書き順などは、P152に掲載されています）

<保護者による関わり方のポイント>

- ・「春のうた」の音読を聞いてあげてください。読み方の工夫については、はじめにどんなところを工夫して読むか尋ね、音読後、工夫の表われを認めてあげてください。
- ・「国語辞典に親しもう」では、お家の方がクイズを出す人になり、よく知っている言葉をお子さんに伝えて、お子さんが言葉の意味を予想し、調べていくクイズ形式の学習方法も考えられます。
- ・「白いぼうし」に出てくる新出漢字の学習では、P152に掲載されている熟語と一緒に読んでみることや、出てきた熟語を使って文づくりをする学習も考えられます。



【算数】

<内容> ～何日かに分けて取り組むと効果的です～

4年生 ①「ペントミノ」（教科書P7～9）

- (1) 同じ大きさの正方形を4枚つなげてできる形を取り組みシートに書いてみよう。
- (2) 同じ大きさの正方形を5枚つなげてできる形を調べてみよう。
- (3) 5枚つなげたときは、何種類あるかな？
- (4) 抜けや重なりがなく全ての種類を見付けるには、どうしたらいいか考えてみよう。
- (5) 自分で方法を見付けられたら、取組ノートに書こう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ①(1)→まず、正方形4枚で考えさせます。ここでは、「できる！できる！」という思いをもたせることが大切になります。

※ゲームのテトリスは、このパターンに当てはまります。

- (2)→次に、正方形5枚で考えさせます。

※4枚のときよりは、数が増えるだろうという予測した場合は、子どもをほめてあげたい。（算数の学習では、おおよその答えを考えることは、大いに役立つためです）

- (3)→全部で12種類を探させます。

※2年生の学習では、正方形6枚で、箱の形を作る活動を行っています。

過去の学年の学習とつなげられたなら、子どもをしっかりとほめていただければと思います。

- (4)→全ての種類を見付けるためには、順序よく考える必要があります。これは、4年生の1年間の算数の学習で大切な考え方（教科書P6）なので、大人も一緒になって考えてみるとより効果的です。

